

食欲不振（胃腸の運動の低下）



① 食欲なく元気がない様子



② ガスの発生した腸管



③ 毛で繋がった便

食事の内容や環境の急激な変化、繊維摂取量の不足、ストレス、運動不足、肥満、感染症など多くの原因が引き金となって胃腸疾患を引き起こします。胃腸の運動の低下により脱水や消化管のガスが増加します②。そのため食欲が低下し、ますます胃腸運動が低下して悪循環に陥り、抑うつ①、昏睡、ショック状態などを呈し死に至ることもあります。

症状

食欲が落ちて、胃腸運動が低下することで軟便や小さな糞、毛で繋がった糞を排泄します③。糞の量は減少することが多く、全く糞が見られない場合には重篤化していることが考えられます。また、腹痛を併発して動きが鈍くなったり歯ぎしりをすることもあります。重篤な場合には入院による点滴治療、外科手術による食滞の除去などを行います。死に至るケースも決して少なくはありません。

学校でのケア

隔離して食餌の量を確認します。飼育環境や食べ物を見直しましょう。繊維質の多い牧草

等を多く与えて胃腸の運動を高めてあげましょう。食欲不振が強い場合は積極的な強制給餌が必要となり、体温低下が認められるときは早急に動物病院での治療が必要です。

学校での注意事項

ウサギは寒暖の変化にあまり強くありません。季節の変わり目や1日の温度変化の激しい時期は特に食事量や糞便の状態に注意してください。また、ストレスからも食欲不振を起します。環境の変化があるときには体調に注意してください。換毛期は、毛づくろいを頻繁にしますので食欲や糞に気を付けてください。

キーワード：食欲不振、小さいウンチ、元気消失